

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	み・らいずスクールしんかなおか		
○保護者評価実施期間	令和7年10月14日		令和7年10月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年10月14日		令和7年10月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援終了後の振り返りを行い、支援の検証改善、支援の見直しを行っている	記録を残してその場になかったスタッフも確認できるようにしている。時間内で話せなかったことは別時間の設定をする。	振り返りで話しきれない時は、別時間を取ってケース検討などの時間を今以上に取っていく。
2	支援計画をもとに、毎月プログラムを作成して提供している	次月行うプログラム案を出し合い、検討する時間を設けている。	勉強会を行うなど、専門性を高めていく。
3	子どもたちが過ごす環境整備ができています	療育部屋は過ごす目的別に分かれており、広い空間で過ごすことができるようにゾーニングしている。ゆっくりクールダウンをする場所がある。	室内で行える遊びを考えて、プログラム以外でも子供たちが楽しく過ごすことができることも考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の発達支援センターとの連携を図って、スーパーバイズや助言を受ける機会が少ない	法人内で支援に対する研修を行っていたり、SVで入っているスタッフがいる	外部の研修会にも積極的に参加していく。困りごとや課題を出し合い、それに対する解決や助言をしてもらえるような研修会の依頼を行う。
2	就学前の移行の際に学校との情報共有と相互理解がすべての児童に対して図れていない	保護者からの意向があれば行おうと思っている。	保護者に対して情報共有ができることを周知し、積極的に連携がとっていけるようなやり取りを行っていく。
3	保護者同士の交流する機会や、きょうだい同士で交流する機会が少ない	保護者会は法人内で行っているが、事業所単体としての開催がなく、参加しにくい。	事業所内で保護者会の開催。法人内で行っているイベントへ家族での参加を促す。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 み・らいずスクールしんかなおか

公表日 令和7年 10月 31日

利用児童数 令和7年 10月 31日 回収数

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。					
	29	事業所の支援に満足していますか。					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		み・らいずスクールしんかなおか		公表日		令和7年 10月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		広く遊ぶスペースや活動スペースを取っている。パーティションや棚を使って部屋を区切って、ゾーニングしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		個別性の高い支援が必要な時は、配置数以上の職員が入って支援を行うこともある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		荷物を置く棚やおもちゃの棚、支援教材の棚など分かりやすく設置している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		整理整頓に努め、決まったところにおもちゃなどを置いていたり、終了時に清掃や消毒を行っている。十分活動できるスペースを確保している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		一人で落ち着ける場所がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎回スタッフ間で振り返りを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		今回初めてになるので、保護者等の意向や意見を受け止め、改善につなげていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日々の会議や振り返り時に行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	外部評価を行っており、業務の改善に努めている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		支援についての研修や法人内研修も定期的に行っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	2	複数人でアセスメントを行い、支援計画作成を行っている。	子どもの気持ちについてどう聞き取りをしていくかについての工夫が必要。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員全体で支援計画会議を行い検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援アプリを使い、いつでも確認できるようになっており、計画に沿った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		アセスメントシートを使用している		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		支援計画に分かりやすく設定し、保護者にも説明や共有している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎月担当を決めて作成し、全体で話し合うプログラム会議を行っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		新しい活動を取り入れたり、次回に改善するところなどの振り返りを行っている		

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別の課題を行ったり、小集団でおこなう取り組みを合わせたプログラムを提供している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		打ち合わせを行ってから、担当を確認し支援にあたっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		その日のうちに支援アプリを使って出来事を記録し、共有や改善点について話し合っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎回記録を取り、振り返りを丁寧に行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		最低6か月に1回はモニタリングを行っており、職員間で話し合いを行っている	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		普段支援に関わっている職員が参加し、療育での様子について細かく共有できるようにしている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	協力医の先生などとの連携を取っていたり、園などに訪問してお話を伺うこともある	たくさんの関係機関との連携を取っていただけるように働きかけが必要
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	保護者からの要望があれば園に行って共有を行っている	積極的に情報共有などをしていただけるように園や保護者に伝えていく
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	保護者からの要望があれば行っている	今後、積極的な連携がとっていただけるようにしていく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7	児童発達支援センターが行っている研修に参加はしている	事業所向けの研修などを活用させてもらう
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	法人内で地域の公園や大学などを場を利用してイベントを企画し参加している。	園などとの交流の機会が持てる活動の企画ができれば
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		毎回保護者との話をする時間を取って、活動の様子についてや相談などを伺っている。その場で難しい時は個別面談の時間を取っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	2歳児クラスの保護者とは親子で療育に参加してもらって、アドバイスをを行っている。法人内で行う保護者セミナーなどの情報提供もしている	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に時間を取って説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2	保護者の意向を踏まえて支援計画の作成を行っている	こどもが望むものになっているかどうかの意思確認を行いながら作成していく
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		目標を見てもらいながら確認し同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		毎回送迎時に話を伺い、必要に応じて個別面談日を設けている	

	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	保護者会や家族で参加できるイベントを行っている。	全保護者が受けやすいものになっていない
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	随時相談を行っている。	日程調整など迅速な対応ができるようにする
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	2	ホームページやインスタグラムを活用して、取り組み内容などについての発信を行っている	更新頻度が少ないので、定期的に発信していきけるようにする
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		その日取り組んだ内容や様子について送迎時にお伝えしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	体験会や相談会を定期的に行っている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	4	策定して職員に周知している。	定期的に訓練を行い、確認ができるようにしていく。家族に向けてマニュアルの周知していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	職員スタッフ向けの避難訓練、防災・防犯訓練を受けている。	受けられていないスタッフに対しても共有していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		契約時に聞き取りを行い、対応についても確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		契約時に説明を行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		その日にあった出来事を共有し、対策の検討まで考えている。検討事項を記録として残している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年1回法人全体の研修があり、日々の振り返りでも対応について話し合ったり相談できる機会を設けている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		契約時に説明を行っている。		